

主題：一神の時を知り、神に従うー

2022/2/23 (水曜日)

目標：一みこころの時を知り、主のように自分を献げ、神に従う者となるー

キリスト伝

後期ユダヤ伝道Ⅰー ①

ヨハネの福音書 7:1~14

ルカの福音書 9:1~62

「エルサレムへの旅」

後期ユダヤ伝道は、仮庵の祭り(10月頃)にエルサレムに向われた主が、十字架直前にエルサレムに入城されるまでの箇所である。その半年間の出来事を数回に分けて学びたい。

主の弟子ヨハネは、「時が来た」ことを悟られた主イエスが、肉親の兄弟と話していたことを変えて、父なる神に従い、密かにエルサレムに向かわれたいきさつを記している。

固い決心を持って、苦しみ^{ひる}の場所であるエルサレムへ向かわれる主には、^{ひる}怯む心が微塵も見られない。父なる神にすべて委ねて従われる姿である。主イエスは十字架だけでなく、その先にある栄光の復活を固く信じておられたのである。

私たちは神に愛され、選ばれ、主の十字架の代価により、死から贖われた者である。永遠のいのちを頂いた私たちは、自己中心の心を献げ、主の従順に倣い、主に近づく者にされたい。

[聖書の学び]

I、十字架への旅の始まり

仮庵の祭りとは、イスラエルの民が秋の収穫を感謝し、出エジプト40年の旅を振り返り、各地で仮庵を作りそこで7日寝起きし、神に感謝する祭りで、AD50年頃までエルサレムの神殿でも祭儀がおこなわれた。

1、主イエスがご自分の死の予告を

された後、ガリラヤに留められた理由は何でしょうか。

(ヨハネ 7:1~9 p192)

①ユダヤ人たちが殺そうとしていた。(v1)

②私の時(十字架の時)が来ていない。(v6)

2、ご自分の肉親の兄弟には、祭りに行かないと言われたのに、急に行くことにされたのは、なぜだと思いますか？

ルカ9:51 (p133) を読みましょう。

3、私たちが神の時を知り、神のみこころに従うためには、どうすれば良いでしょうか。

・ 祈る ・ みことばを頂く ・ 神の導きに従う

* ある人が牧師の按手礼を受けましたが、その時彼は既に50代でした。20代に献身の思いがありましたが、彼は職場で主に仕えて時を待ちました。50才になった春、仕事を辞め神学校に入りましたが、その時、彼のいた職場はクリスチャンの群れに変わっていました。

Ⅱ、エルサレムへの道中

1、主イエスはサマリヤを通してエルサレムに行かれましたが、サマリヤ人の心の状態はどうでしたか。(ルカ 9:52、53)

①1 年半前——サマリヤの女の証しにより、主イエスを信じた人々
(ヨハネ 4:36～37)

②主がエルサレムに行くのを見て——人々は主を受け入れなかった
(ルカ 9:53)

2、怒りをもってさばき、滅ぼそうとする弟子のヤコブとヨハネですが、主イエスの願われることは何なののでしょうか。(ルカ 9:54,55)

3、主イエスの復活・昇天の後、迫害で散らされたピリポはサマリヤでどのような聖霊の業を見ましたか？(使徒 8 章)

・サマリヤにとって主の時はいつだったのでしょうか

Ⅲ、主イエスに従う者の心構え (ルカ 9:57～62)

1、主に従って行きたいと願う者の心構えはどのようなのでしょうか？

①多くの人に慕われる主イエスの生き様はどのようなものでしょうか。(ルカ 9:58)

②「わたしについて来なさい」と言われる主のことばに、まずどうしたらいいのでしょうか。(ルカ 9:59～60)

③一度主に従う決心をしたら、どうすることが求められるのでしょうか。
(ルカ 9:62)

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q1. 私たちを滅びから救い出すため、十字架に架かって下さった主イエスに、どのように応えたらよいのでしょうか。